平成２１年９月３０日

東海道新幹線車両　非常用ドアコック部の改良完了について

新幹線車両には、非常時に手動で乗降用ドアを開扉できるよう、非常用ドアコックが全乗降用ドアに設置されています。当社ではこの非常用ドアコックを走行中に扱えないようにするための改良を平成１９年６月より行ってきました。

当初、完了時期を平成２２年３月としておりましたが、このたび、改良工事を早く進捗させ、平成２１年９月末をもって改良が完了しましたので、お知らせします。

１．改良内容

起動時に非常用ドアコックフタを施錠して、走行中は開けられないようにする

※平成２０年９月　特許取得済

２．改良対象編成

Ｎ７００系　　：１０編成

７００系　　：６０編成（全編成）

計７０編成

※Ｎ７００系は、現在４０編成保有していますが、このうち初期の１０編成が改良対象であり、１１編成目以降は車両新製時から改良したタイプとなっています

※３００系は対象としていません

３．完了時期

平成２１年９月

４．工事費額

約９億円

参　考

新幹線車両　非常用ドアコック部（改良後）

非常用ドアコック注意銘板

N700系

700系